

公式戦開催にあたっての補足規定

公式戦の安全な実施のため、この補足規定を遵守願います。

1. 参加する全てのチームが以下の内容を守ることが、中部4種公式戦が安全に実施できるための前提である。
 - ・チームの選手、スタッフ全員が「新しい生活様式」に従って日々の感染症対策、健康管理を行っていること。
 - ・チームの選手、スタッフ全員が試合を行うために十分なトレーニングを行っていること。
 - ・チームの選手の保護者ならびに関係者全員が会場・日時・対戦相手を理解し参加を了承していること。
 - ・チームの選手、スタッフの中に、有症状者、無症状病原体保有者及び濃厚接触者として2週間の健康観察中の者がいないこと。全てのスマホ所有者は、接触確認アプリ「COCOA」を活用していること。
2. 来場者(選手・スタッフ・応援者)の体調が悪い場合は、会場に来ないことを徹底(持ち込まない)
 - ・有症状者、無症状病原体保有者については退院又は宿泊療養等が終了するまで、濃厚接触者については有症状者、無症状病原体保有者と最終接触後14日間を経過するまでは来場禁止とする。
 - ・当日の体温が37.5度以上(平熱より1度以上高い)及び体調不良の者は来場禁止とする。
 - ・上記の措置により大会参加が不可能となった場合は、速やかに四種委員会にメールをする。試合については不戦敗とする。
 - ・当日、会場において体調不良者が発生した場合には、速やかに帰宅させるとともに、本部にその旨を報告する。
3. メンバー表の提出
 - ・各チームで日常の健康チェックを確実に行う。
 - ・試合用メンバー表に選手及びスタッフ全員の前日と当日の体温を記入して提出する。
 - ・検温及び健康状態の確認ができない場合、当日会場で発熱がみられる場合は参加を断る。
4. 応援
 - ・来場者を特定できるように、応援者も前日と当日の検温を行い、チームで管理する(提出は不要)。
 - ・公式戦の応援は、感染予防の観点から最小限の家族とし、可能な場合は送迎のみとする。
 - ・屋外では社会的距離を確保するなど慎重に行動し、社会的距離が確保できない場合及び声を出して応援する場合には、マスクを着用する(大き過ぎる声は控える。また、熱中症には十分注意する)。
 - ・屋内ではマスク着用とし、定員の50%以下で密とならないように本部で人数を規制する。
5. 試合及びウォーミングアップ
 - ・審判団、相手チームとの握手や得点時のハイタッチ、交代時のタッチは行わない。
 - ・挨拶は目礼を基本とするが、屋外で2m以上の距離のある場合は声を出した挨拶も可能とする。
 - ・タオルや飲料ボトルの共用をしない。
 - ・屋内会場では、試合及びウォーミングアップのとき以外はマスクを着用する(ただし、熱中症には注意する)。
6. 手洗い及び手指の消毒の励行
 - ・各チームでハンドソープや消毒液を準備し、試合前後や食事前には必ず手洗い・消毒を行う。
7. 万が一、公式戦終了後2週間以内に参加者およびご家族から感染または疑わしい者が出た場合は、速やかに四種委員会に連絡する。